

## 平成 27 年のこれまでの実績と見込み

### 【8 月までの実績】

	H26	H27	対前年	
	A	B	C: (B-A)	D: (B/A)%
総排出量 : t	59,948	58,360	△1,588	( 97.35%)
1人1日あたりごみ排出量 : g/人・日	504	492	△12	( 97.62%)
焼却ごみ量 : t	49,534	48,473	△1,061	( 97.86%)
埋立処分量 : t	3,840	2,126	△1,714	( 55.36%)
資源化量 : t	10,693	12,283	1,590	(114.87%)
リサイクル率 : %	17.8	21.0	3.2	(117.98%)

※1人1日あたりごみ排出量は、現住人口（避難者を除く）で算出

平成 26 年度実績と比較すると、全ての項目において成果をあげております。

### 【年間実績・見込み】

8 月までの実績を基に、対前年度比でそのまま推移した場合に見込まれる処理量等は次のとおりです。

	H26	H27	対前年
	E	F: (E*D)	
総排出量 : t	135,794	132,197	△3,597
1人1日あたりごみ排出量 : g/人・日	1,141	1,114	△27
焼却ごみ量 : t	112,128	109,726	△2,402
埋立処分量 : t	7,154	3,961	△3,193
資源化量 : t	25,432	29,213	3,781
リサイクル率 : %	18.7	22.1	3.4

※1人1日あたりごみ排出量は、現住人口（避難者を除く）で算出

現行計画で指標として掲げている項目において、埋立処分量については、埋め立てることのできない飛灰を含めても、平成 27 年度目標値（10,000 t）を達成（約 6,500 t）する見込みとなります。

(H27. 8 まで) (H26. 8 まで) (H26 年間) (H27 年間見込み)

$$\text{※仮置きする飛灰} = 1,189 \div 1,793 \text{ t} \times 3,907 \text{ t} \approx 2,591 \text{ t}$$

また、リサイクル率についても、焼却灰のリサイクル拡大により、目標値を概ね達成する見込みであることから、今後は、ごみの排出・発生抑制を中心に減量施策を展開し、更なる減量に向けた施策を検討する必要があります。